

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立出雲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・花や野菜を育てる活動を通して、植物の生長の様子や変化に気付くとともに、親しみをもって大切にすることが、できるようになった。
- ・おもちゃづくりやものづくりを通して、試行錯誤をしたり、話し合ったりしながら、よりよいものにするという気持ちや態度が育ってきた。
- ・自分自身の成長に気付くとともに、自分の成長には様々な人々が関わっていることに気付き、感謝の気持ちを伝えることができた。

(2) 課題

- ・様々な場面での気付きはあるが、それを文章や絵で表すことが苦手な児童がいる。表現方法を教えたり、例を提示したりすることを引き続き行っていくことが必要である。
- ・活動や体験の中で、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くまでは至っていない。体験的な活動を意図的に計画する必要がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 学びに向かう力・人間性   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝顔の観察、生き物探しの活動を設定し、植物や生き物に触れ合う体験をさせる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物や生き物の変化や成長の様子ポイントを意識させるため、観察の際に視点を明確化する。</li> <li>・気付きを認めるとともに、表現方法を提示し、より詳しく自分の気付きを表現できるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と地域の人々・社会との関わりが具体的に把握できるような学習活動を行い、積極的に体験活動を取り入れていく。</li> </ul> |

(2) 第2学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃづくりでは、それぞれの素材について、何度も触れて遊ぶことで、動きの面白さや不思議さに気付き、工夫へとつなげていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では、「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」など感覚をはたらかせて観察する力を高め、様々な表現の方法を例示することにより、多様な表現方法に触れ、自分に適した法を見付け、考えや思いを表現できるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的な活動を行うときに、「1年生に遊んでもらおう。」「おうちの方に知ってもらおう。」など相手意識をもって活動できるように、ゴールを設定し、児童が意欲的に活動できるようにする。</li> <li>・体験活動では、地域や企業の方々をゲストティーチャーとして、関われるようにする。</li> </ul> |